

1. 科目名 (単位数)	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) (2 単位)	3. 科目番号	PSMP6266
2. 授業担当教員	久保 貴		
4. 授業形態	講義, 研究発表、及びディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	犯罪心理学は、犯罪行動の特性、犯罪の発生機序、犯罪への対応、犯罪原因論を研究する心理学の応用分野である。その特徴は、犯罪現象に対する心理学的なアプローチのみではなく、社会学的アプローチ、生物学的アプローチ、精神医学的アプローチ等の多様なアプローチを含む総合的な研究方法にある。 本講義では、上述した多様な視点から犯罪（非行を含む。）現象及び犯罪に対する社会の対応について分析し、犯罪に対する総合的な理解を深めるとともに、犯罪という複雑な現象に対する研究方法についても理解を深めることを目的とする。心理学研究の進め方及び研究倫理についても言及する。		
8. 学習目標	1 犯罪原因論の諸学説を理解する。 2 犯罪の現状、犯罪に対する社会の対応、犯罪行動の特徴を理解する。 3 複雑な現象に対する研究方法を学ぶ。研究倫理について理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	あらかじめ教科書の該当部分を読んできたことを前提に、授業においては、教員の講義の後で教科書の当該部分の内容についてディスカッションを行う。4 回目以降の授業においては、あらかじめ指定された学生が与えられたテーマについて教科書及び参考書等で調べたことを発表を行い、その後ディスカッションを行う。		
10. 教科書・参考書 ・教材	【教科書】法と心理学会監修、綿村英一郎・藤田政博・板山昂・赤嶺亜紀編『入門 司法・犯罪心理学』有斐閣、2022 年 3 月 【参考書】森丈弓・荒井崇史・嶋田美和・大江由香・杉浦希・角田亮『司法・犯罪心理学』サイエンス社、2021 年 7 月 法務省法務総合研究所編『令和 5 年版犯罪白書』 https://www.moj.go.jp/housouken/housouken03_00127.html 河野荘子・岡本英生編著『コンパクト司法・犯罪心理学 初歩から卒論・修論作成のヒントまで』北大路書房、2020 年 10 月 藤岡淳子編『司法・犯罪心理学』有斐閣、2020 年 10 月 岡邊健編『犯罪・非行の社会学 補訂版』有斐閣、2020 年 9 月 橋本和明『司法矯正・犯罪心理学特論』放送大学教育振興会、2020 年 3 月 越智啓太・桐生正幸編著『テキスト司法・犯罪心理学』北大路書房、2017 年 7 月 大淵憲一『犯罪心理学 犯罪の原因をどこに求めるのか』培風館、2006 年 7 月		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 「8 学習目標」で示した内容が理解できているか。 2. 理解したことを自分の言葉で分かりやすく説明することができたか。 ○評定の方法 成績は、出席点、ディスカッションへの参加度、発表の内容を総合して評価する。評価配分は、概ね、出席点…30%、ディスカッションへの参加度…30%、発表内容…40%を想定している。		
12. 受講生への メッセージ	教科書を読むだけでなく、その内容に対する自分の考え・意見を明確にして、授業におけるディスカッションに参加するようにしてください。担当部分の発表やディスカッションにおいては、教科書の内容をそのままの言葉で説明するのではなく、自分の言葉で説明する努力をすることが大切です。		
13. オフィスアワー	オフィスは王子キャンパス（管理研究棟、研究室1）ですので、授業の前後に時間をとります。		
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】		
1～2. テーマ	オリエンテーション、犯罪心理学とは		
【学習の目標】	犯罪心理学の内容、研究方法等について理解する。		
【学習の内容】	犯罪心理学の特徴、研究の進め方、必要とされる基礎知識、研究倫理を学ぶ。		
【キーワード】	犯罪心理学、心理学研究法、犯罪と非行		
3. テーマ	現代日本の犯罪動向		
【学習の目標】	現在の日本における犯罪の発生状況について理解する。		
【学習の内容】	犯罪発生率の推移、罪種別認知件数・検挙件数、犯罪への対応等について学ぶ。		
【キーワード】	犯罪発生率、認知件数、検挙件数、安全神話、犯罪白書		
4. テーマ	犯罪原因の科学的研究		
【学習の目標】	犯罪研究の歴史について理解する。		
【学習の内容】	犯罪に関する研究がどのように発展してきたのかを学ぶ。		
【キーワード】	生来性犯罪者論、社会解体論、犯罪心理学		
5～6. テーマ	犯罪の社会的要因		
【学習の目標】	犯罪に関する社会学理論について理解する。		
【学習の内容】	緊張理論、統制理論、下位文化理論等の社会学的理論の変遷について学ぶ。		
【キーワード】	緊張理論、統制理論、アノミー、絆（バンド）、漂流（ドリフト）、下位文化理論、分化的接触理論、ギャング、犯罪社会学、環境犯罪学		
7～10. テーマ	犯罪の生物学的要因、心理学的要因		
【学習の目標】	犯罪に対する心理学的なアプローチ、生物学的なアプローチについて理解する。		
【学習の内容】	再犯（者）の特性、犯罪の生物学的要因、心理学的要因について学ぶ。		
【キーワード】	再犯、生物学的要因、パーソナリティ、知能、ストレス、認知的バイアス、サイコパス		
11. テーマ	犯罪の発達の要因		
【学習の目標】	犯罪に関する縦断的な研究について理解する。		
【学習の内容】	犯罪に関する研究方法の特徴と研究結果について学ぶ。		
【キーワード】	縦断的研究、コホート研究、反社会性、家族病理、遺伝と環境、不適応		
12～14. テーマ	犯罪予防、処遇制度		
【学習の目標】	犯罪予防に関する理論、犯罪者処遇制度について理解する。		
【学習の内容】	犯罪予防に関する理論の特徴、犯罪者処遇の制度と処遇内容、その理論的背景を学ぶ。		

【キーワード】	犯罪予防、再犯・再非行、日常活動理論、割れ窓理論、リスク認知、犯罪不安、犯罪者処遇
15. テーマ	まとめ
【学習の目標】	犯罪原因論と対応の全体像を理解する。
【学習の内容】	これまでの授業の内容を振り返り、犯罪心理学の全体像を把握する。
【キーワード】	上記1～14のキーワード